

# 無限 MUGEN

## 60200-XPC -K0S0 FRONT OVER FENDER

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。  
本書をよくお読みになり、お取り付けくださいますようお願い申し上げます。  
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。

### お取り付けの前に

- ・ 開梱後は、構成部品表を参照し梱包物に不足や破損がないことを確認してください。
- ・ 取り付け前に、適合車種を確認してください。

〈適合車種〉

Super-ONE ZAA-JG6

〈色記号〉

無限色	ホンダ色記号	色名
ZZ	—	未塗装

- ・ 本製品と75300-XPC -K0S0 SIDE GARNISHを同時装着する場合は、必ず本製品から取り付けを行ってください。
- ・ 本製品の改造、取り付け不良、誤使用により発生した不具合や事故等について弊社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についてのご質問やご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

株式会社 M-TEC 商品事業部

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

営業時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土日・祝日・弊社指定定休日を除く)

## 安全上のご注意

取り付け作業および使用されるお客様が傷害を負う可能性があることや、取り付け作業に関するアドバイスなどを下記の表示を使用し説明しています。

### ⚠ 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

### ⚠ 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

### ⚠ 注意

指示に従わないと、傷害を負う可能性があるもの

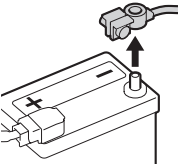
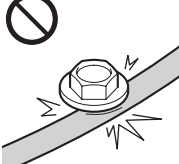
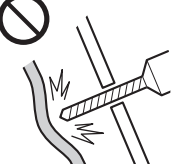

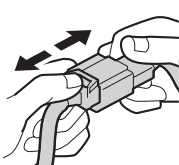
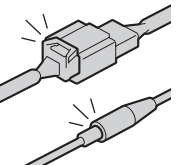
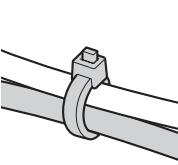
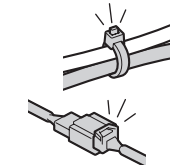

### アドバイス

車両または製品の故障や破損を防ぐためのアドバイス、知っておいていただきたいこと



禁止事項

## 電装作業に関するご注意

 <p>ショート防止のため、バッテリーのマイナス端子を必ず外すこと</p>	 <p>ボルトやナットを締め付ける際は、ハーネスを噛み込んだり、傷を付けないこと</p>	 <p>穴をあける際は、裏側の部品に傷を付けないこと</p>
 <p>断線やコネクタが外れる恐れがあるため、ハーネスを強く引っ張らないこと</p>	 <p>コネクタの接続を外す際は、コネクタ本体を持ってロックを外すこと</p>	 <p>コネクタやターミナル端子の接続は、ロックするまで確実に差し込むこと</p>
 <p>ハーネスはたるまないように固定し、結束バンドの余長をカットすること</p>	 <p>バッテリーのマイナス端子を接続する前に、取り付けに不良がないことを再度確認すること</p>	 <p>作業完了後、車両のランプやワイパー等の電装システムが正常に作動することを確認すること</p>

## ■ 取り付け作業者および使用されるお客様へのご注意

### ▲ 警告

- ・ フロント オーバー フェンダーが事故や接触により破損や変形した場合は、ただちに交換するか取り外してください。そのままの状態での走行は、事故発生の原因となる恐れがあります。







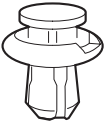
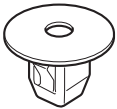
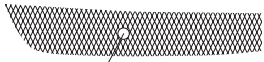
### アドバイス

#### 【FRPゲルコート仕上げ製品の特徴】

FRPゲルコート仕上げの製品は複雑な形状を製造するのに適した製品です。そのためABS、PPE樹脂製塗装済み製品とは取り扱い方が異なります。車両や製品の個体差等により塗装前にフィッティングの確認、取り付け穴などの修正および製品表面の面出しや製法上発生する傷などの修正等の下地処理が必要となりますので予めご了承ください。

- ・ 塗装の前に必ず車両への仮付けを行い、無理なく取り付けが出来ることを確認してください。
- ・ 取り付け穴および車両部品とのフィッティングの調整を行ってください。車両や製品の個体差等で修正が必要になる場合があります。
- ・ 製造工程上、製品表面にヤスリ跡、合わせ面の補修や修正跡、ゲルコート表面の細かい凹凸があります。塗装前に必ず下地処理を行ってください。
- ・ ゲルコート仕上げ状態のままでは使用出来ません。製品を確認のうえ、面出し作業や足付け作業などの下地処理を行い塗装を行ってください。特に、割型面部はピンホールが発生しやすいため、必要に応じてパテ修正、面出し等の下地処理を行ってください。
- ・ 製法上、FRPゲルコート仕上げ製品はABS、PPE樹脂製塗装済み製品と同等の面品質が出ない場合がありますので予めご了承ください。
- ・ 乾燥は、常温乾燥を推奨いたします。強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する場合がありますのでご注意ください。
- ・ その他につきましては塗料メーカーの取扱説明書に従い、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- ・ 本製品の取り付け、純正部品の取り外しおよび取り付けは、サービス マニュアルと本書に従ってください。また、作業はホンダ ディーラーや自動車整備工場で行ってください。
- ・ 作業環境として20℃以上の温度を保ち、ほこりのたたない場所での作業を推奨します。
- ・ 両面テープの接着不良を防ぐため、取り付け後24時間は、雨・水などで濡れないようご注意ください。
- ・ 自動洗車機での洗車は避けてください。フロント オーバー フェンダーに無理な力が加わり、破損の原因となる恐れがあります。
- ・ 定期的に締結部品のゆるみやガタ、両面テープの剥がれがないことを点検し、取り付け状態を確認してください。

## ■ 構成部品表

No.	部品イメージ	部品名称	数量	備考
①		左フロント フェンダー パネル	1	
②		右フロント フェンダー パネル	1	
③		左フロント バンパー ガーニッシュ	1	
④		右フロント バンパー ガーニッシュ	1	
⑤		左フロント ピラー カバー	1	
⑥		右フロント ピラー カバー	1	
⑦		クリップ	4	
⑧		グロメット	2	仕様により余ります
⑨	 表裏識別シール	左メッシュ	1	表裏識別シールがある 面が表面です

No.	部品イメージ	部品名称	数量	備考
⑩		右メッシュ	1	表裏識別シールがある面が表面です
⑪		両面テープ	1	
⑫		保護テープ	1	
⑬		型紙	3	
⑭		WEB取説ご案内シート	1	

## 必要工具/用具

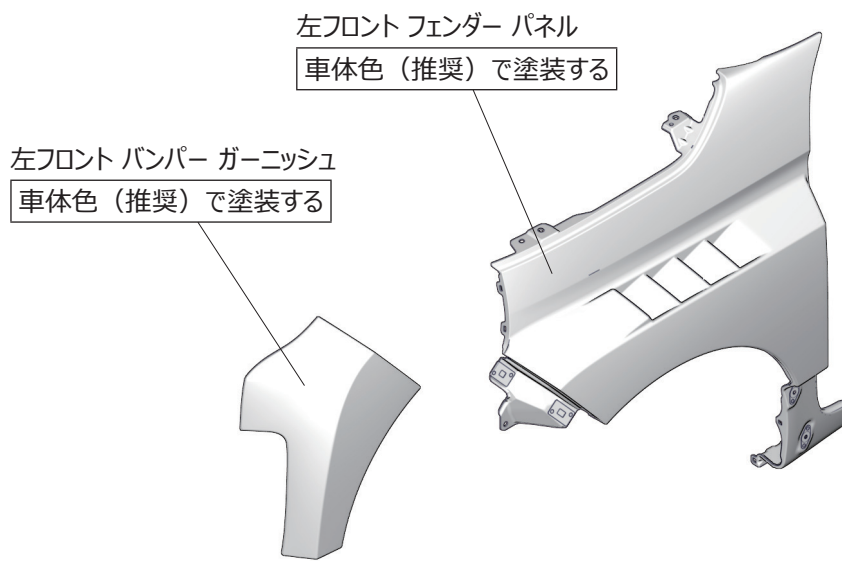
- ・ スパナ 10 mm
- ・ ソケットレンチ 10 mm
- ・ ラジオペンチ
- ・ トルクレンチ
- ・ マスキングテープ
- ・ キリ
- ・ クリップリムーバー
- ・ プラススタビドライバー
- ・ ドリル
- ・ イソプロピルアルコール
- ・ ハサミ
- ・ スケール
- ・ ラチェットレンチ
- ・ プラスドライバー
- ・ ドリル刃  $\Phi 3$ 、 $\Phi 6$ 、 $\Phi 10$ 、 $\Phi 14$
- ・ ウェス
- ・ カッター

# ■ フロント オーバー フェンダーの塗装

## 1. 左フロント フェンダー パネルと左フロント バンパー ガーニッシュを塗装する。

### アドバイス

- 乾燥は、常温乾燥を推奨。  
【推奨塗料】2液性アクリル ウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）
- 強制乾燥での上限温度は40℃、加熱時間は20～30分です。上限温度および設定時間以上に加熱すると変形する可能性があるため、注意すること。
- 塗料メーカーの取扱説明書に従い有機溶剤中毒及び引火事故等の危険防止に努め、作業を行うこと。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥は行わないこと。



右側も同様

## ■ 車両部品の取り外し

### アドバイス

- ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

2. バッテリーのマイナス端子を外し、放置する。(サービス マニュアル参照)

3. 車両をリフト アップまたはジャッキ アップする。(サービス マニュアル参照)

### ▲ 危険

- ・ ジャッキ アップの際は、リジット ラックを使用し、車両が安全な状態であることを確認すること。

4. フロント バンパー、リッド ベース、左ヘッド ライト、右ヘッド ライトを取り外す。(サービス マニュアル参照)

5. 以下の内容を確認する。

- |                    |      |
|--------------------|------|
| ・ 無限サイド ガーニッシュ非装着車 | 手順6へ |
| ・ 無限サイド ガーニッシュ装着車  | 手順7へ |

6. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを取り外す。(サービス マニュアル参照)

手順9へ

## 7. 左サイドシルガーニッシュと右サイドシルガーニッシュを取り外す。(サービスマニュアル参照)

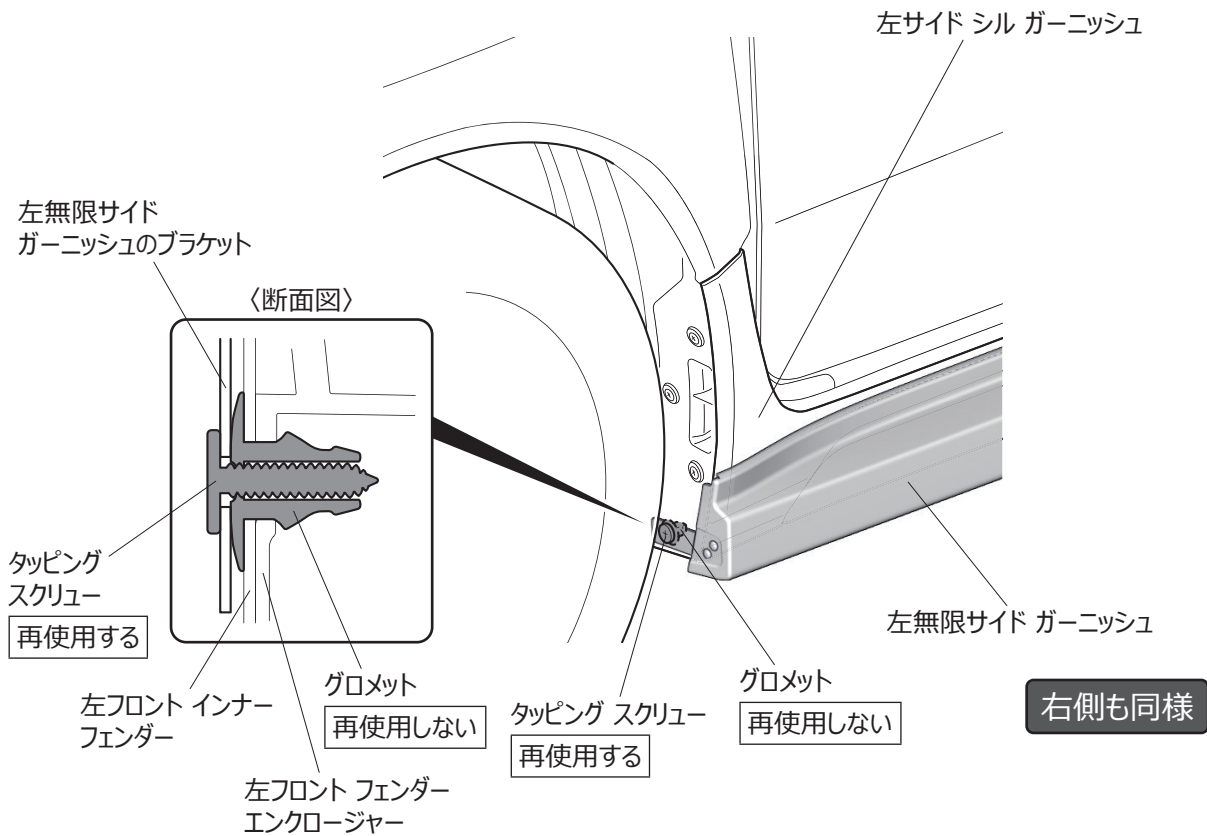
### アドバイス

- ・ サイドシルガーニッシュの取り外し方が異なるため、手順8を参照すること。(異なる部分のみ記載)

## 8. タッピングスクリューとグロメットを取り外す。(サイドガーニッシュ装着車)

### アドバイス

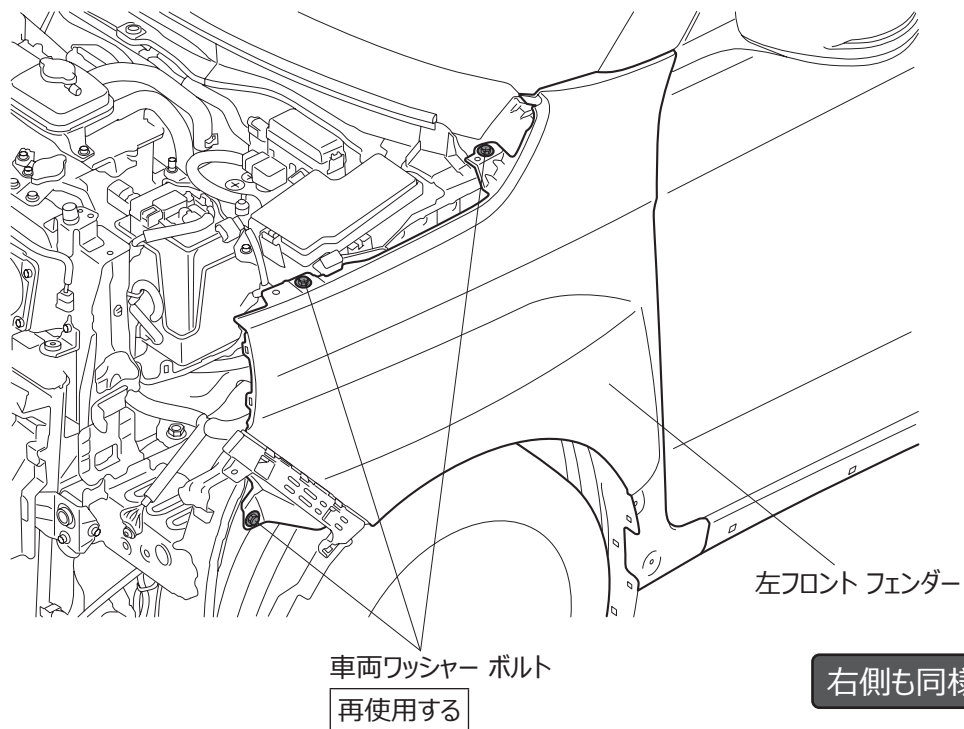
- ・ タッピングスクリューは再使用するため、紛失や破損に注意すること。



## 9. 車両ワッシャー ボルトを取り外す。

### アドバイス

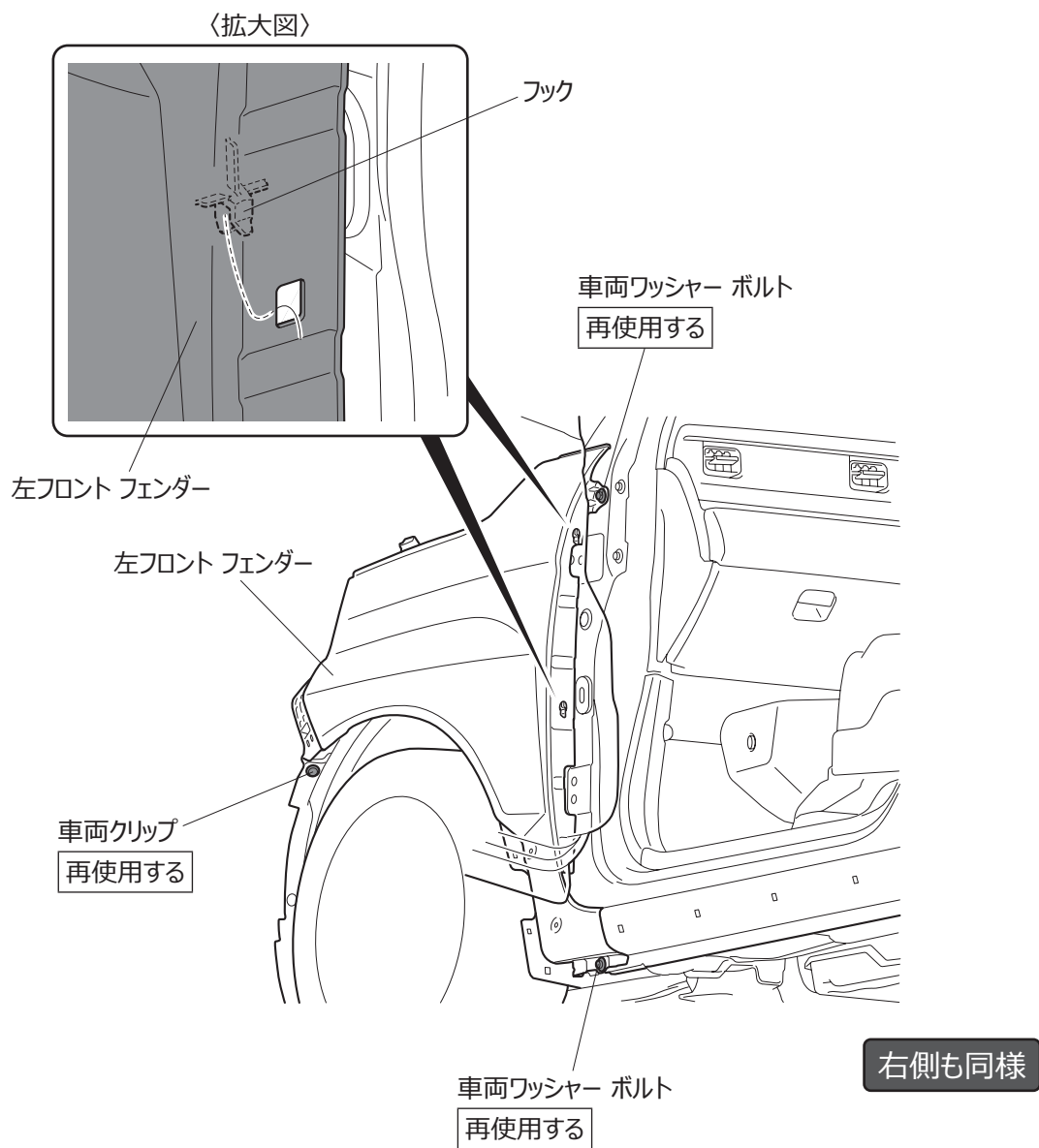
- ・ 車両ワッシャー ボルトは再使用するため、紛失や破損に注意すること。



## 10. 左フロント フェンダーを取り外す。

### アドバイス

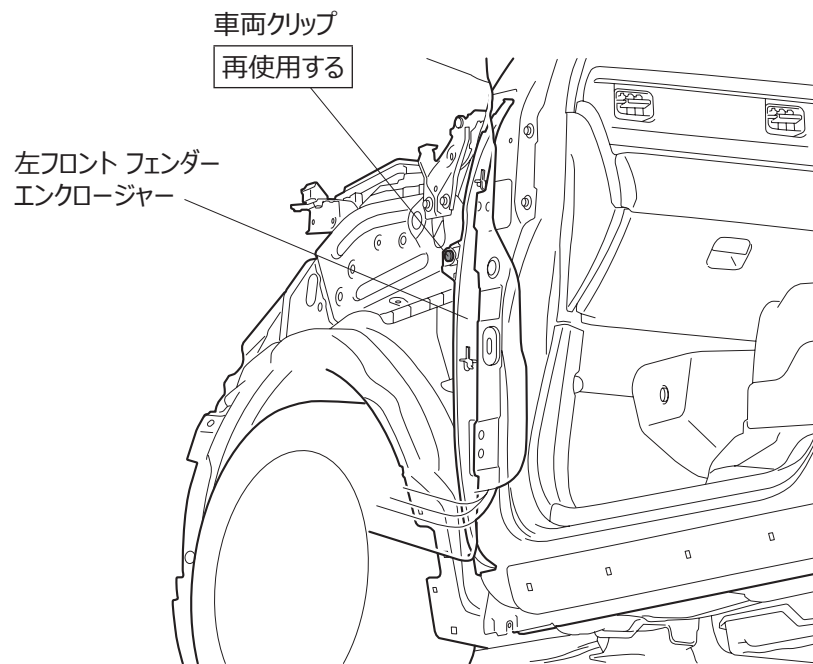
- ・ 車両ワッシャー ボルトと車両クリップは再使用するため、紛失や破損に注意すること。



## 11. 左フロント フェンダー インクロージャーを取り外す。

### アドバイス

- ・ 車両クリップは再使用するため、紛失や破損に注意すること。



右側も同様

## ■ フロント オーバー フェンダーの取り付け

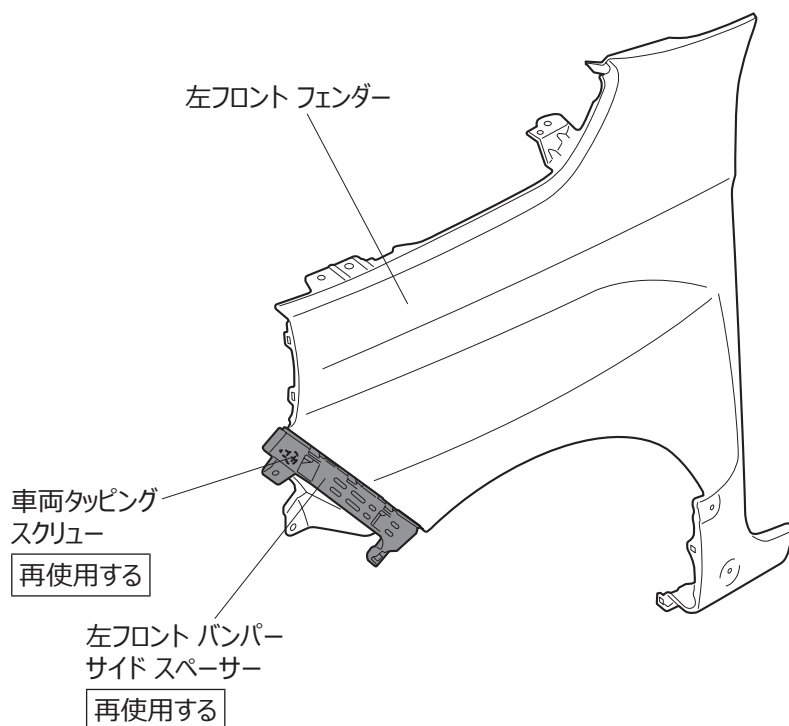
### アドバイス

- ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・ ケガ防止のため、保護具等を着用して作業を行うこと。

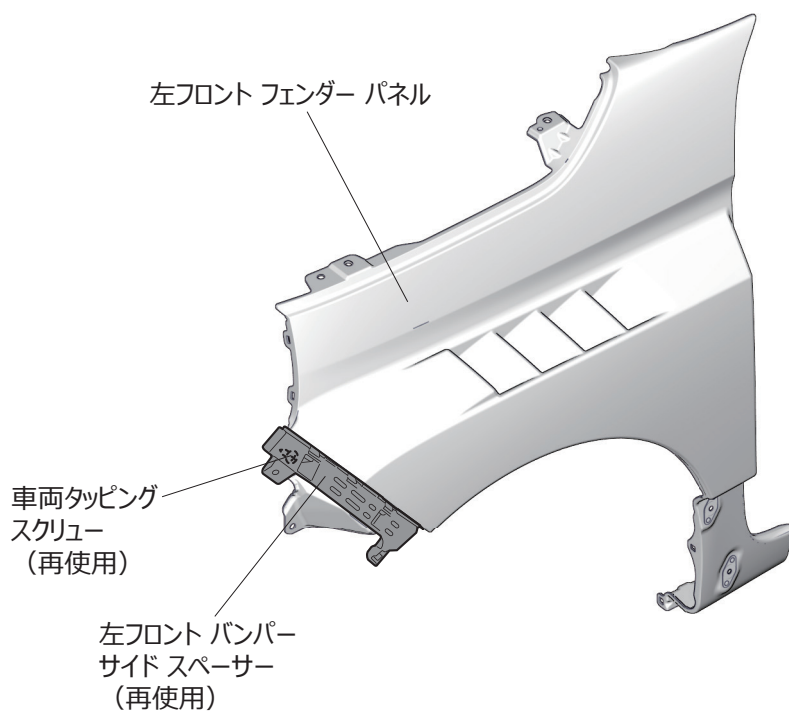
## 12. 左フロント バンパー サイド スペーサーを取り外す。

### アドバイス

- ・ 左フロント バンパー サイド スペーサー、右フロント バンパー サイド スペーサー、車両タッピング スクリューは再使用するため、紛失や破損に注意すること。

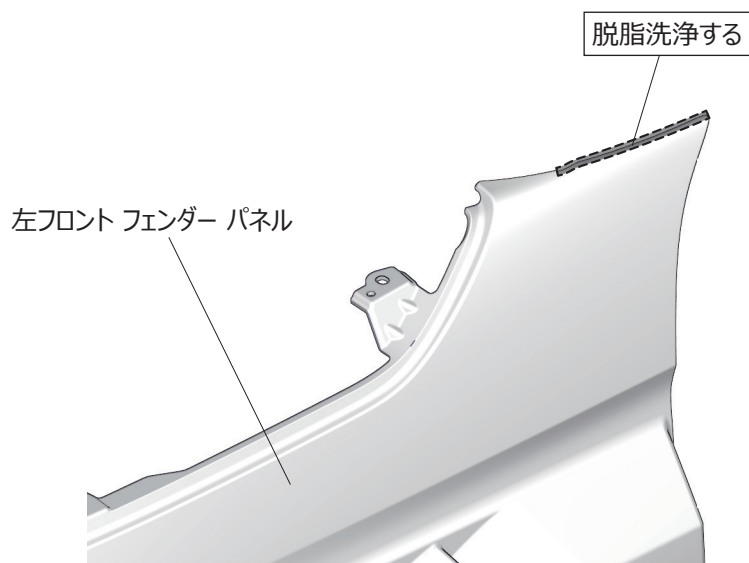


**13.** 左フロント バンパー サイド スペースを左フロント フェンダー パネルに取り付ける。



右側も同様

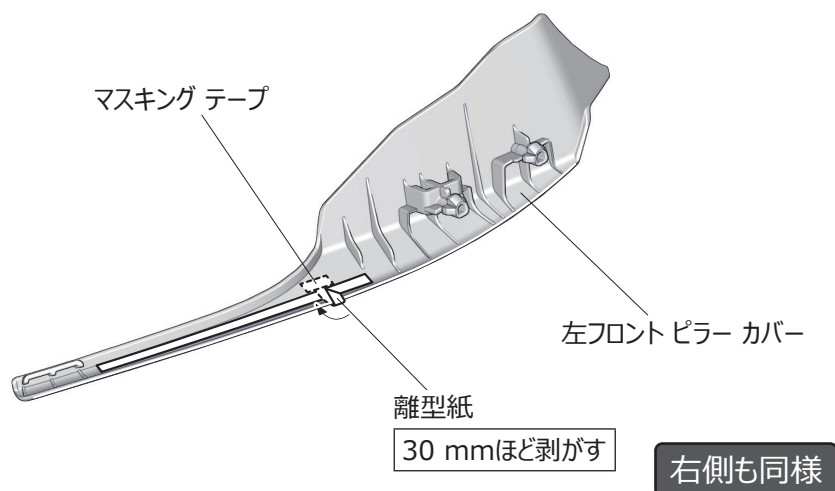
**14.** 左フロント フェンダー パネルを脱脂洗浄する。



右側も同様

## 15. 左フロントピラーカバーの離型紙を仮留めする。

〈裏面図〉



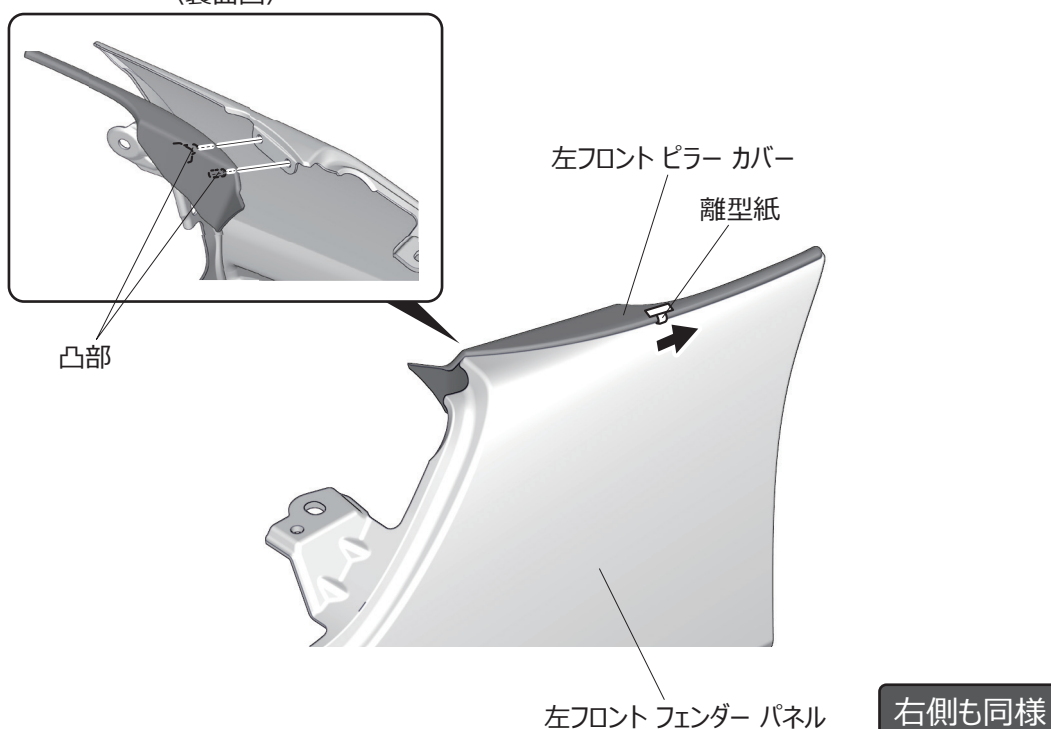
## 16. 左フロントピラーカバーを左フロントフェンダーパネルに取り付ける。

## 17. 左フロントピラーカバーを左フロントフェンダーパネルに圧着する。

### アドバイス

- 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- 図に示す方向に離型紙を剥がし、圧着すること。
- ピラーカバーの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。

〈裏面図〉



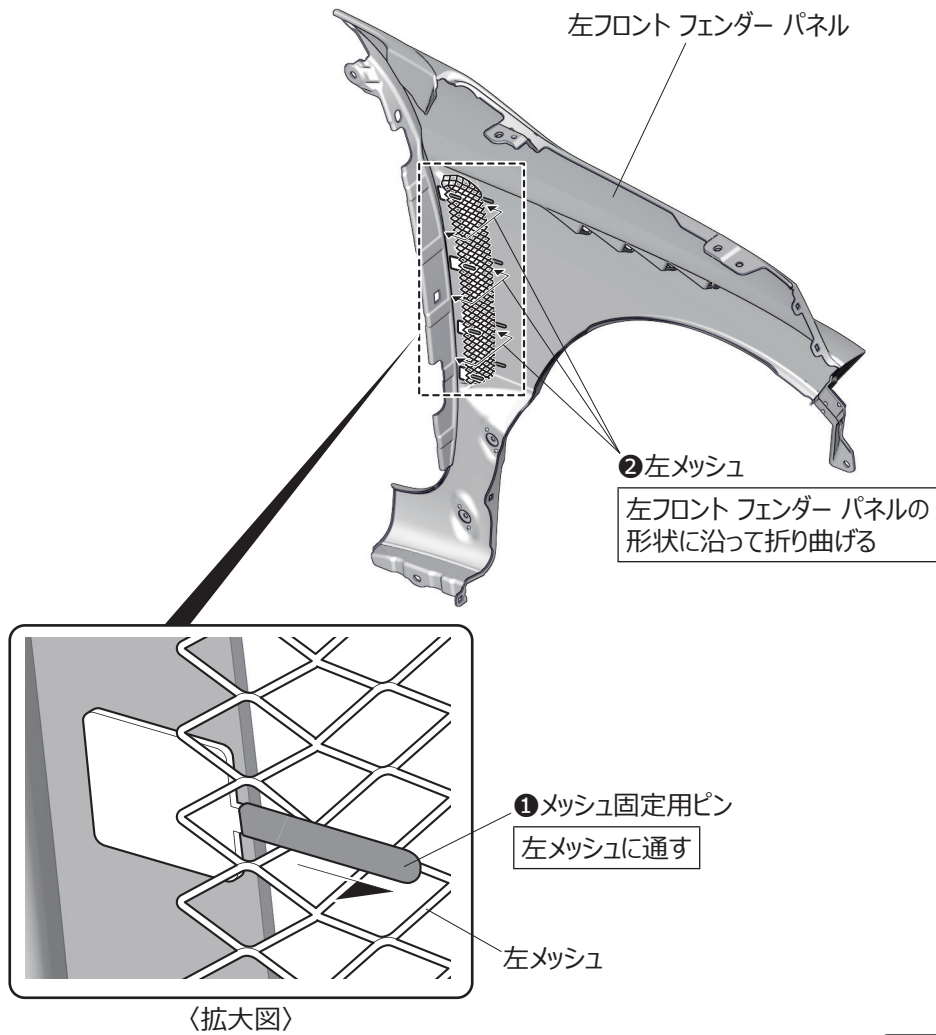
18. 左メッシュに付いている表裏識別シールを剥がす。

19. 左メッシュを左フロント フェンダー パネルに取り付ける。

### アドバイス

- ・ 表裏識別シールが貼ってあった面を表面に向けること。
- ・ 図に示す順番で作業すること。
- ・ メッシュは何度も折り曲げないこと。

〈裏面図〉



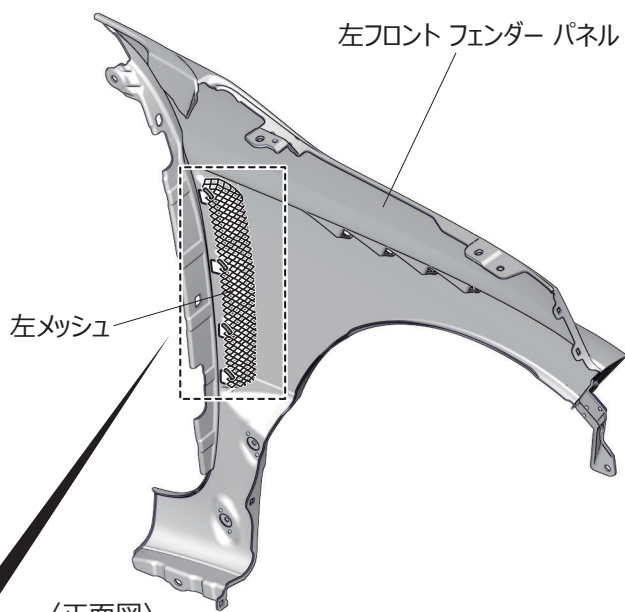
右側も同様

## 20. 左メッシュを左フロント フェンダー パネルに固定する。

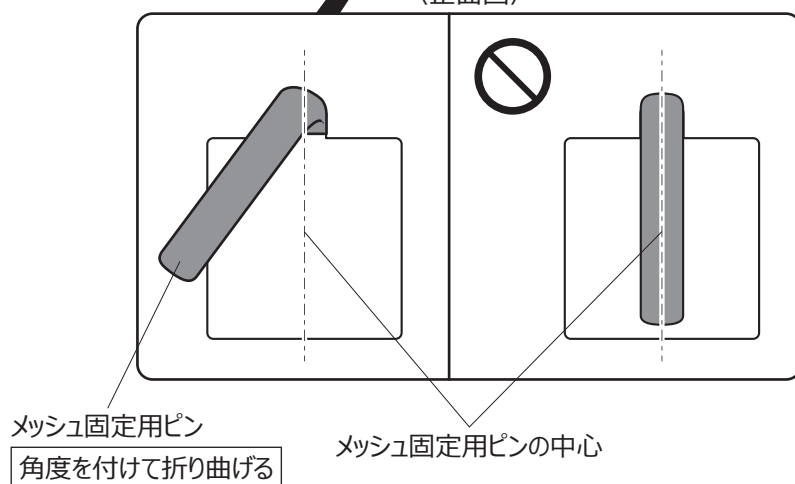
### アドバイス

- メッシュ固定用ピンは根元から折り曲げること。
- メッシュ固定用ピンは何度も折り曲げないこと。

〈裏面図〉



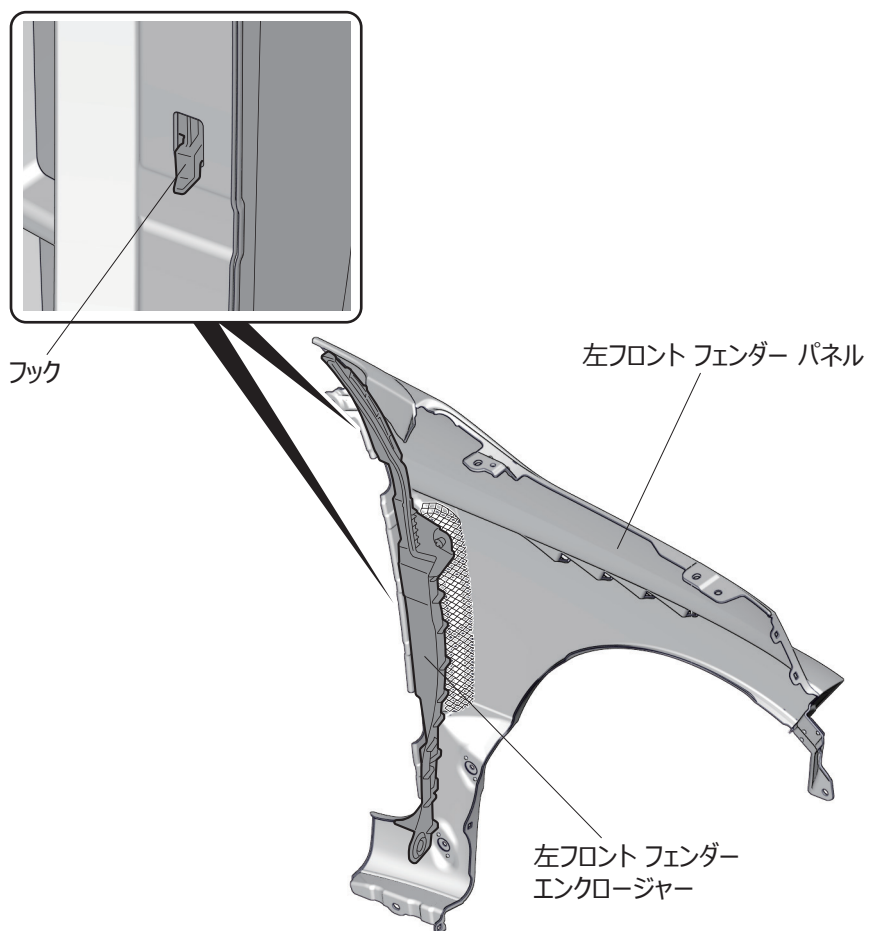
〈正面図〉



右側も同様

## 21. 左フロント フェンダー インクロージャーを左フロント フェンダー パネルに取り付ける。

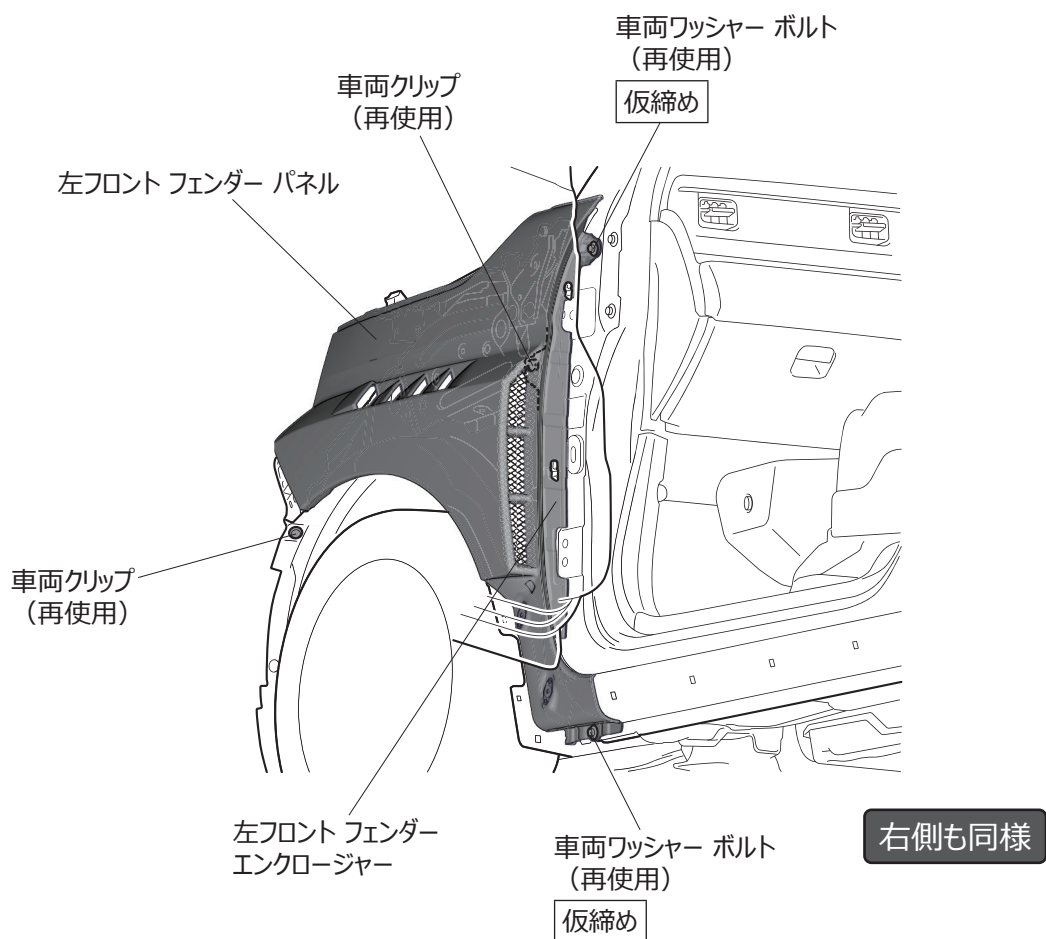
〈裏面図〉



右側も同様

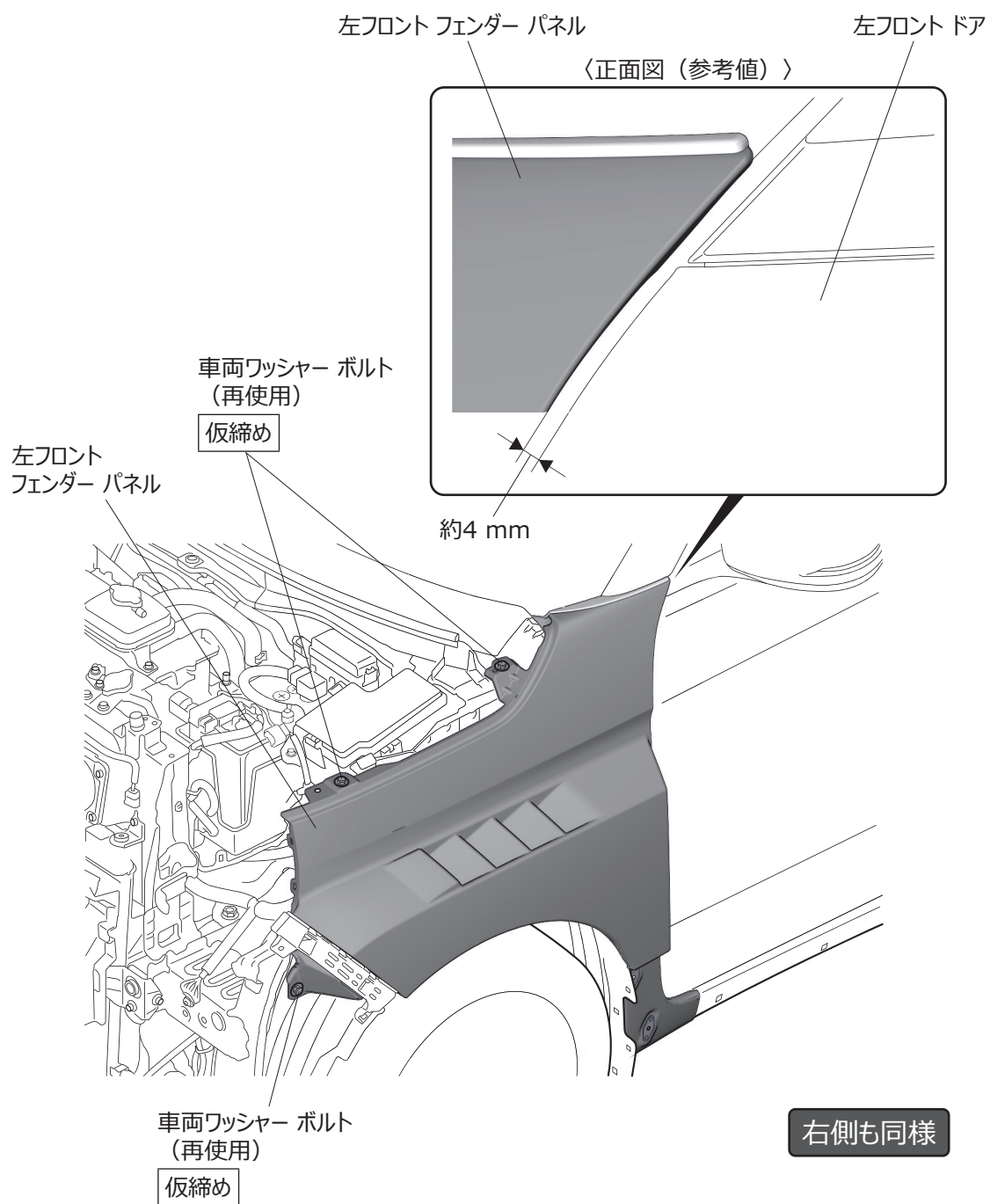
22. 左フロント フェンダー パネルを車両に仮固定する。

23. 左フロント フェンダー インクロージャーを車両に固定する。

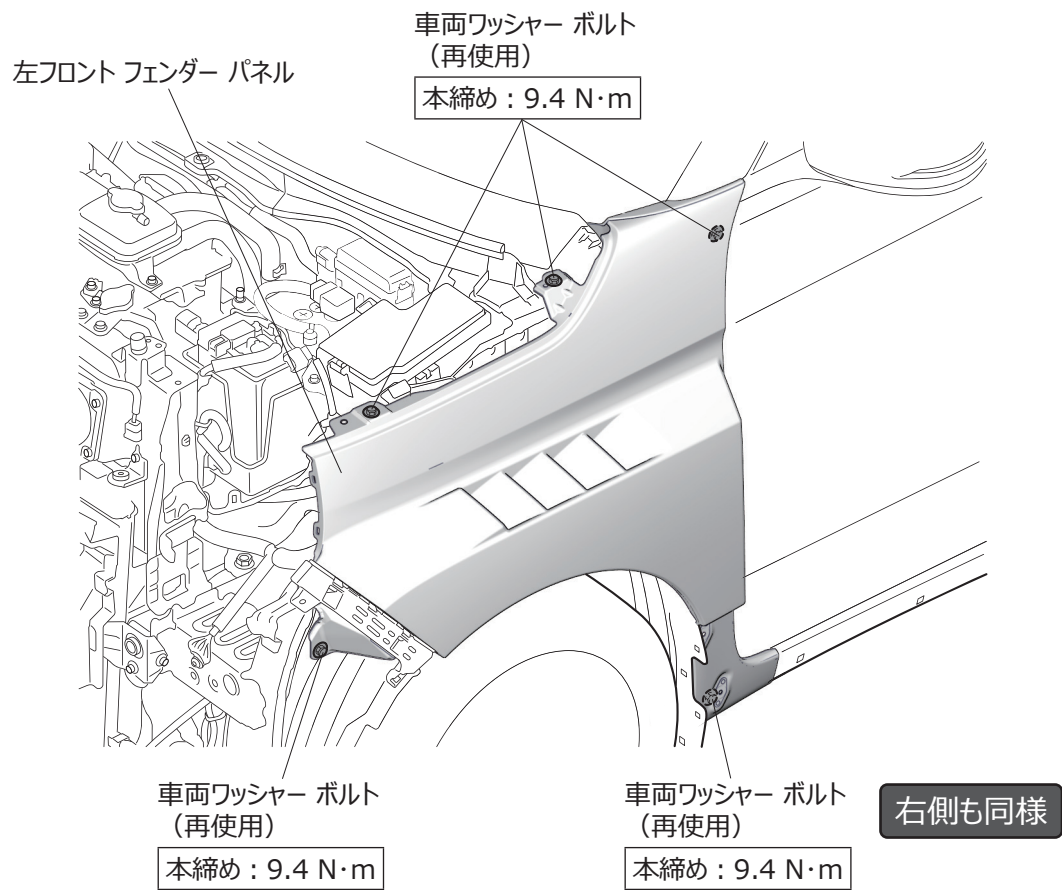


24. 左フロント フェンダー パネルの取り付け位置を確認する。

25. 左フロント フェンダー パネルを車両に仮固定する。



## 26. 左フロント フェンダー パネルを車両に固定する。

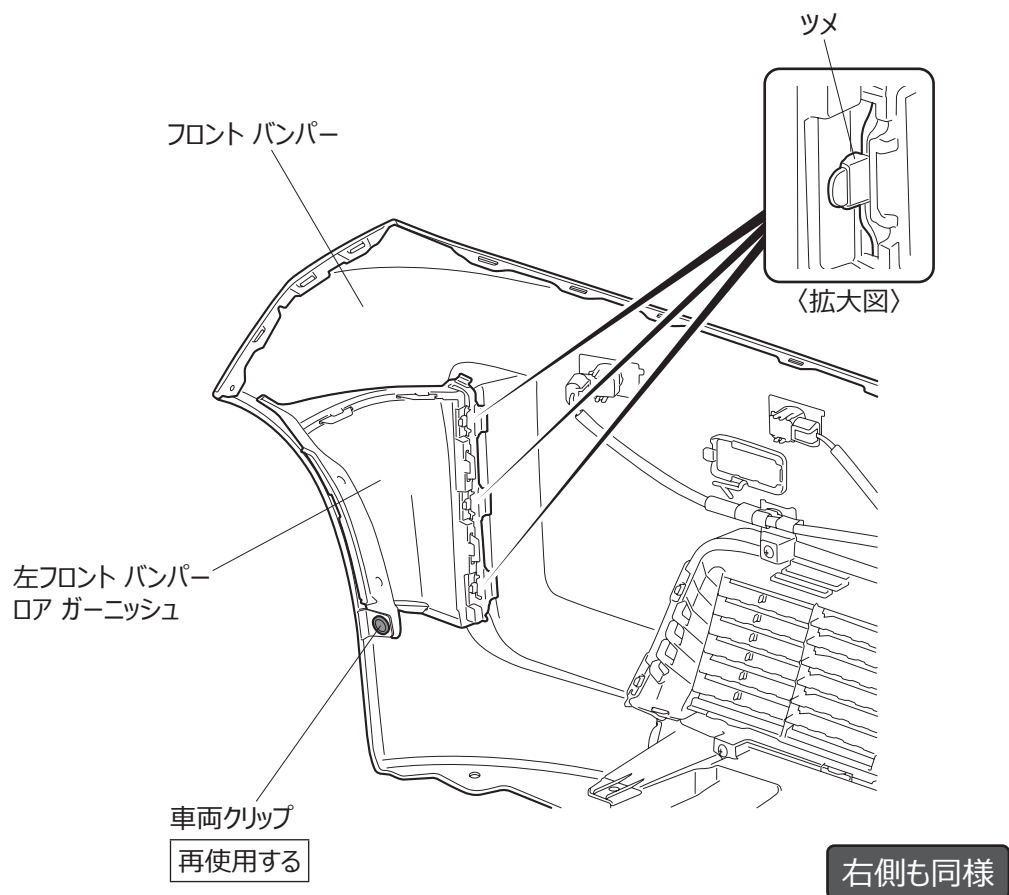


## 27. 左フロントバンパー ロア ガーニッシュを取り外す。

### アドバイス

- ・ 車両クリップは再使用するため、紛失や破損に注意すること。

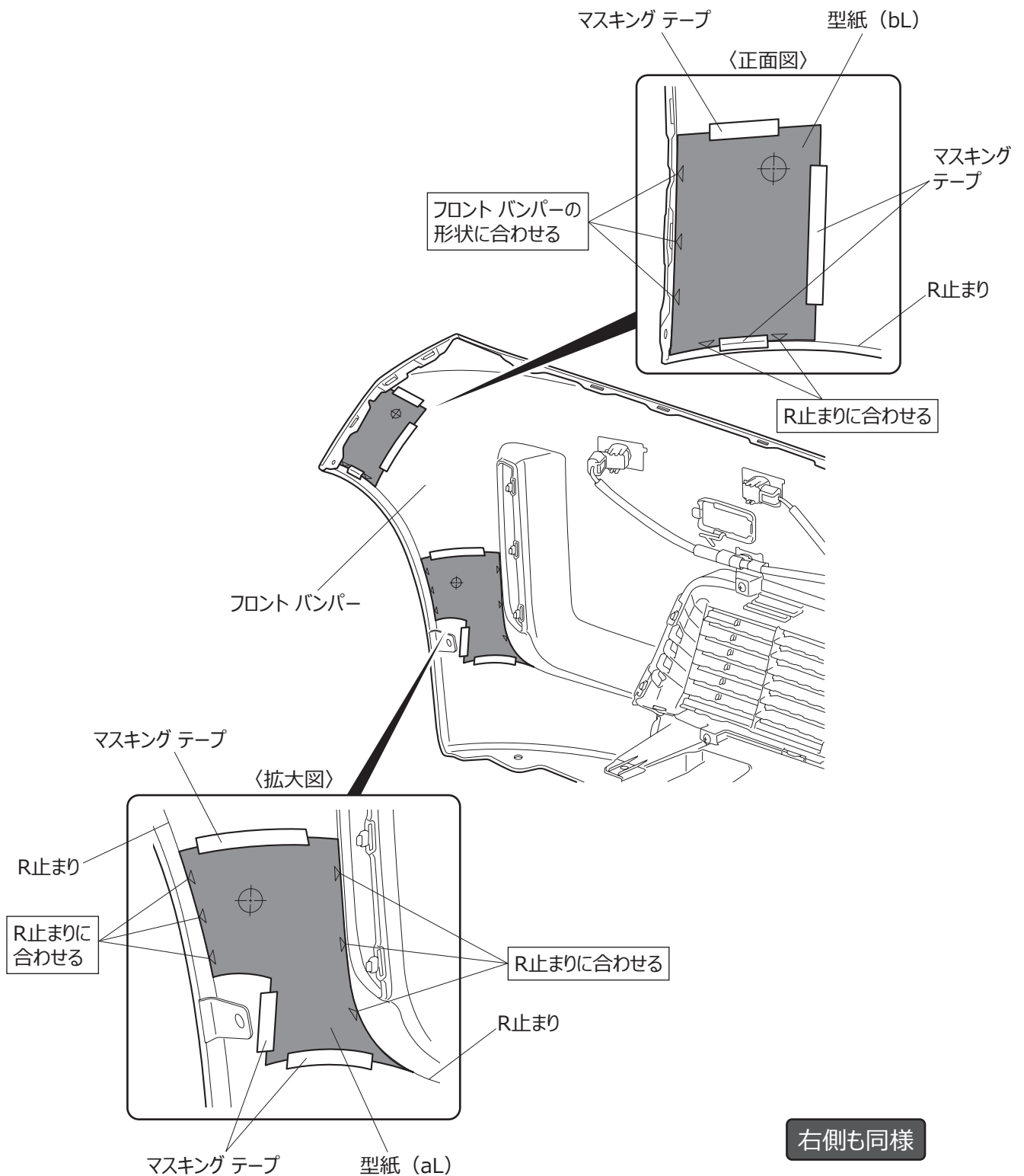
〈裏面図〉



28. 型紙 (a、b) を切り取る。

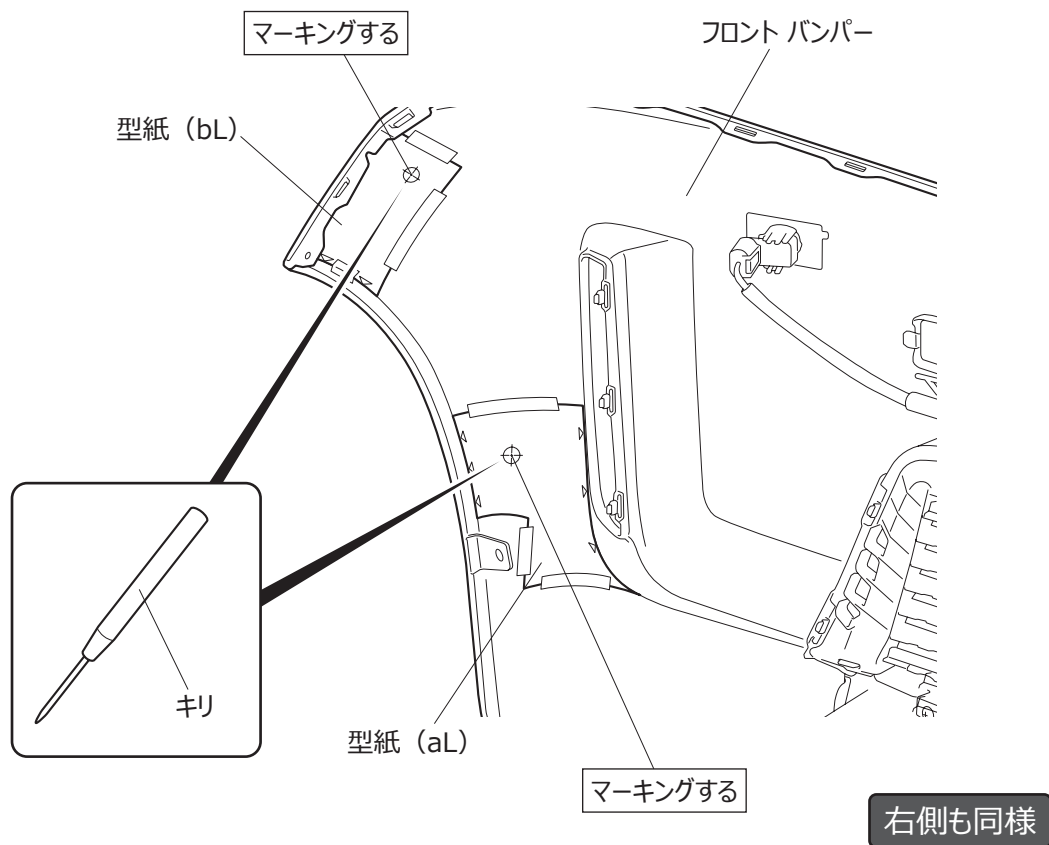
29. 型紙 (aL、bL) をフロントバンパー裏面に貼り付ける。

〈裏面図〉



### 30. フロントバンパーにマーキングする。

〈裏面図〉



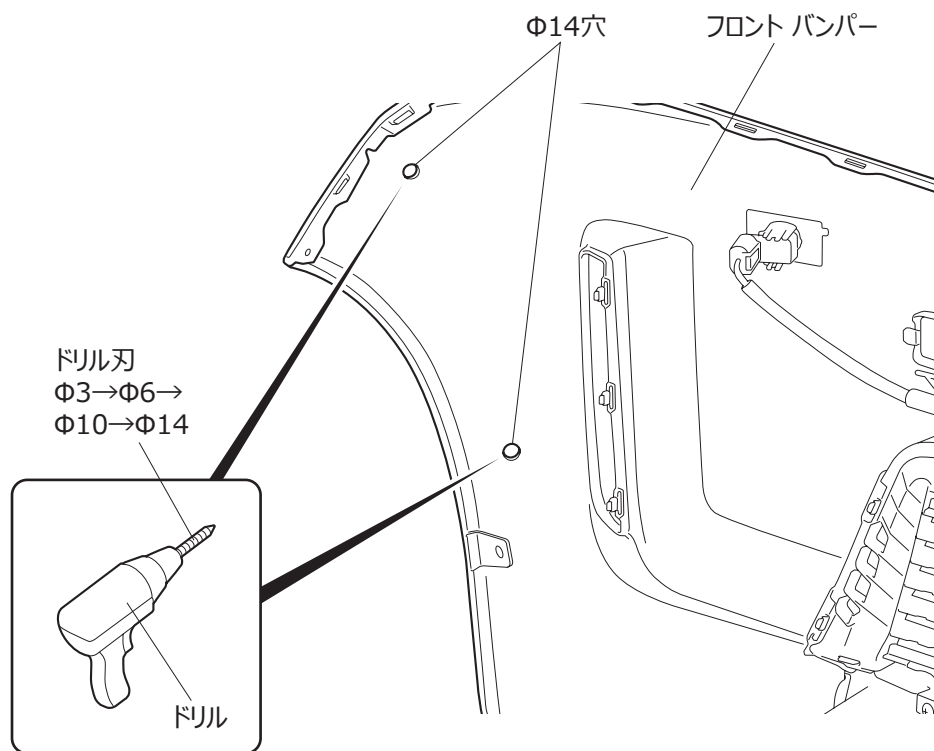
### 31. 型紙 (a、b) を剥がす。

## 32. フロントバンパーに穴をあける。

### ▲ 注意

- ・ドリルを使用する際は、ケガなどに十分注意して作業すること。

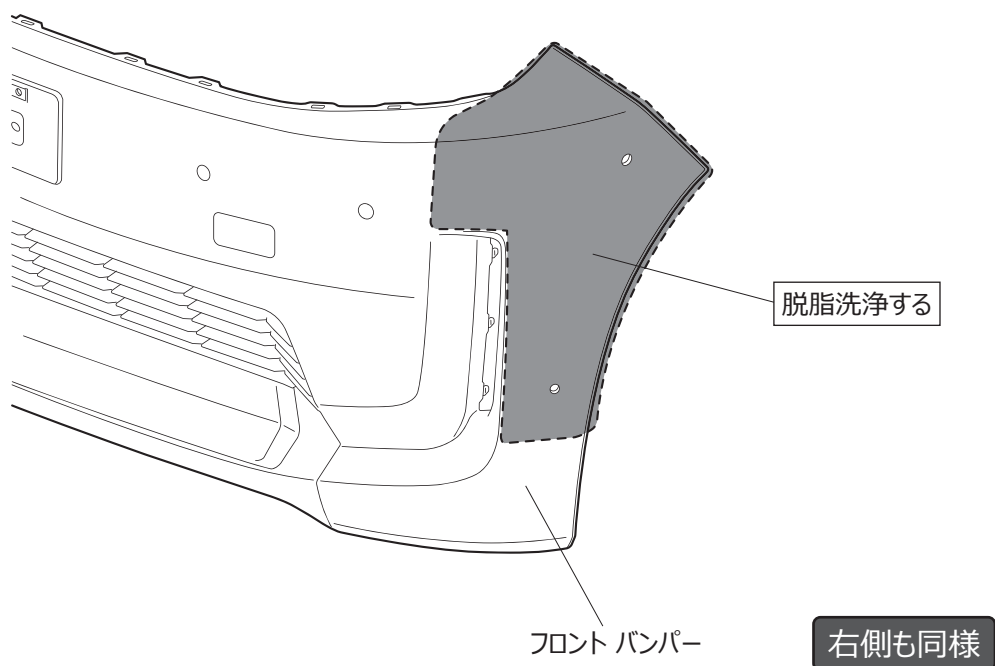
〈裏面図〉



右側も同様

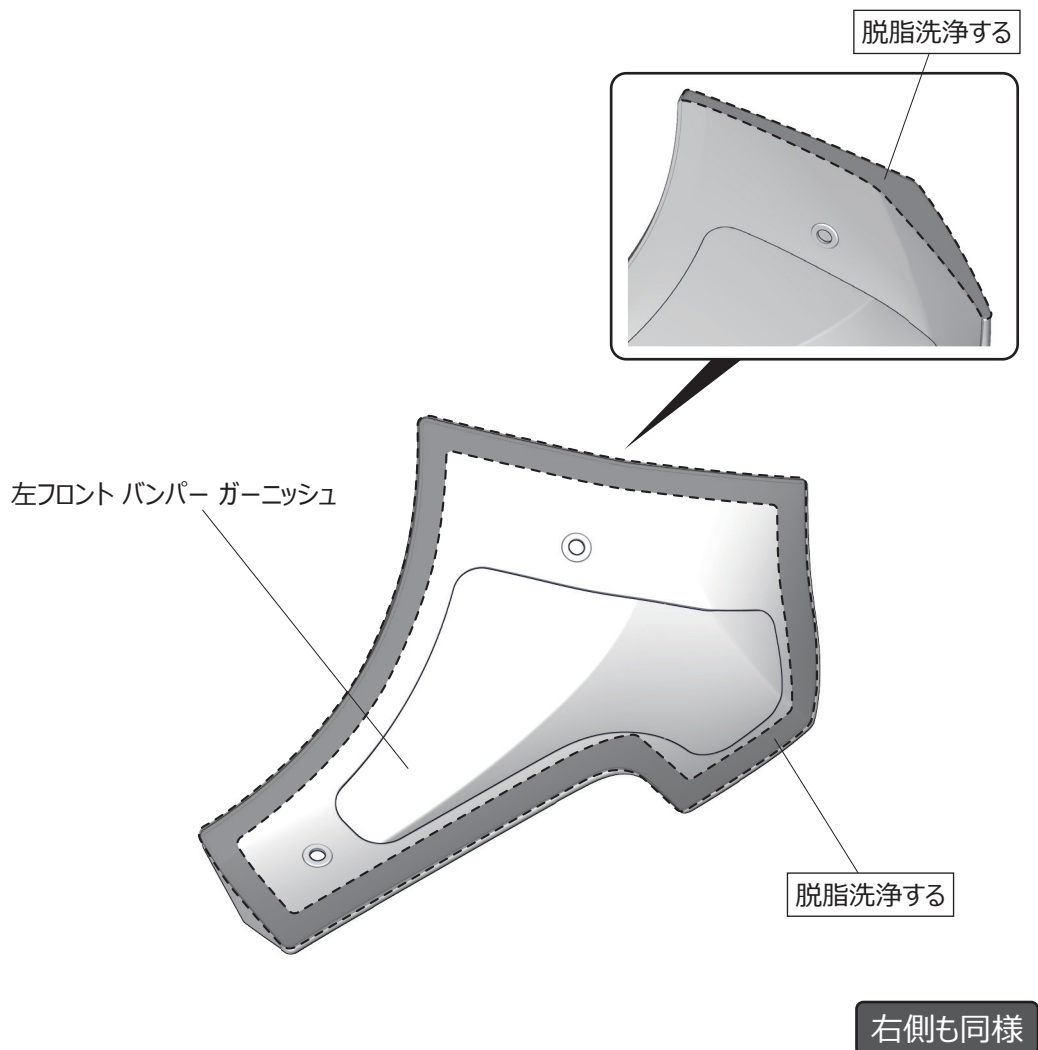
## 33. バリを除去する。

### 34. フロントバンパーを脱脂洗浄する。



### 35. 左フロントバンパーガーニッシュを脱脂洗浄する。

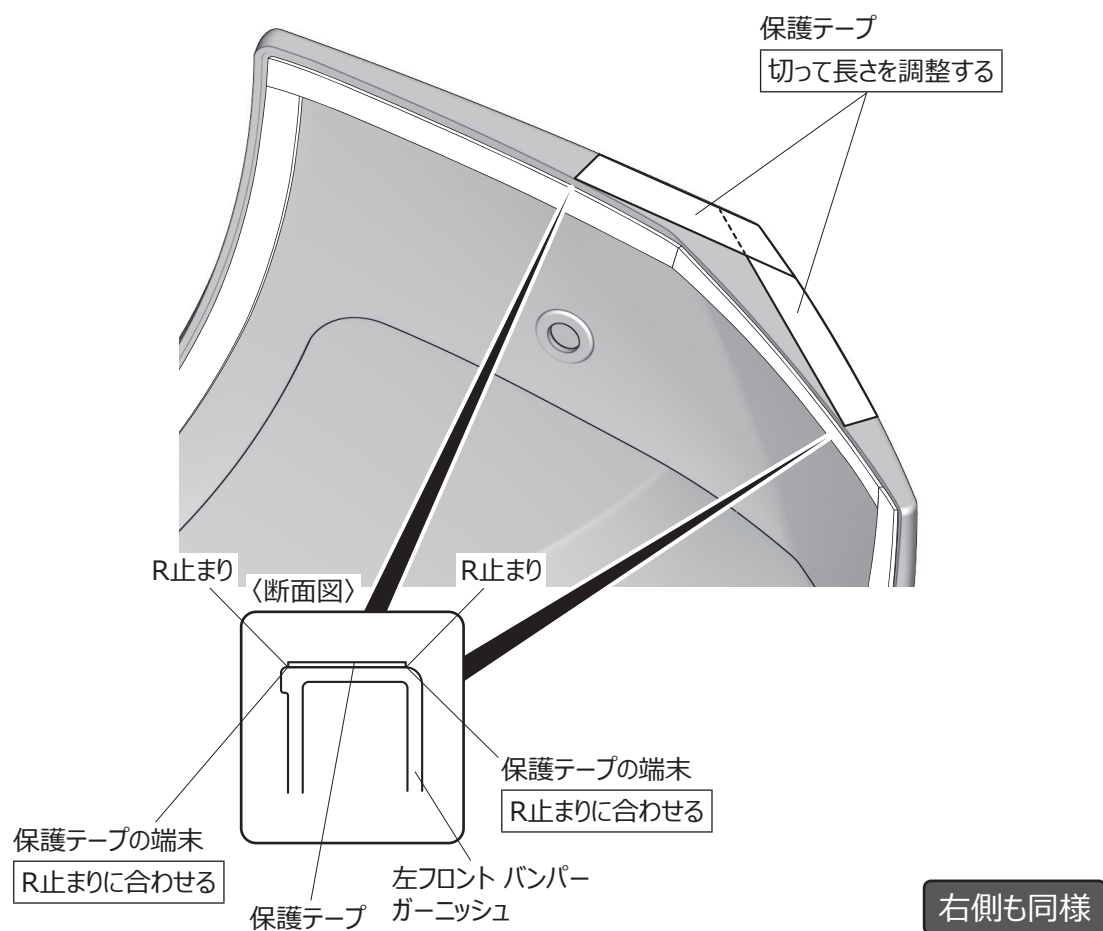
〈裏面図〉





### 37. 保護テープを左フロントバンパーガーニッシュに貼り付ける。

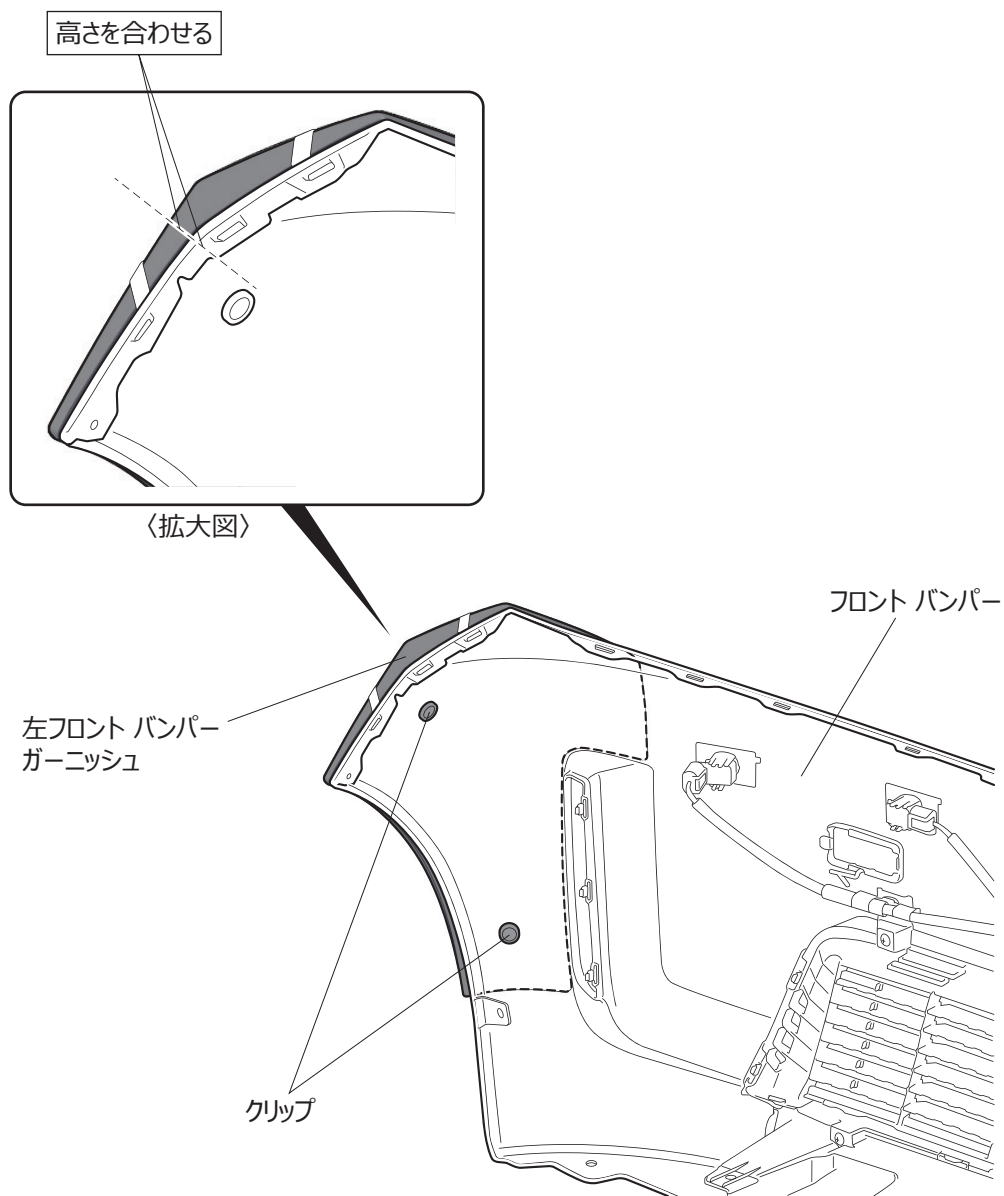
〈裏面図〉





### 39. 左フロントバンパー ガーニッシュをフロントバンパーに仮固定する。

〈裏面図〉



右側も同様

### 40. 左フロントバンパー ロア ガーニッシュを復元する。

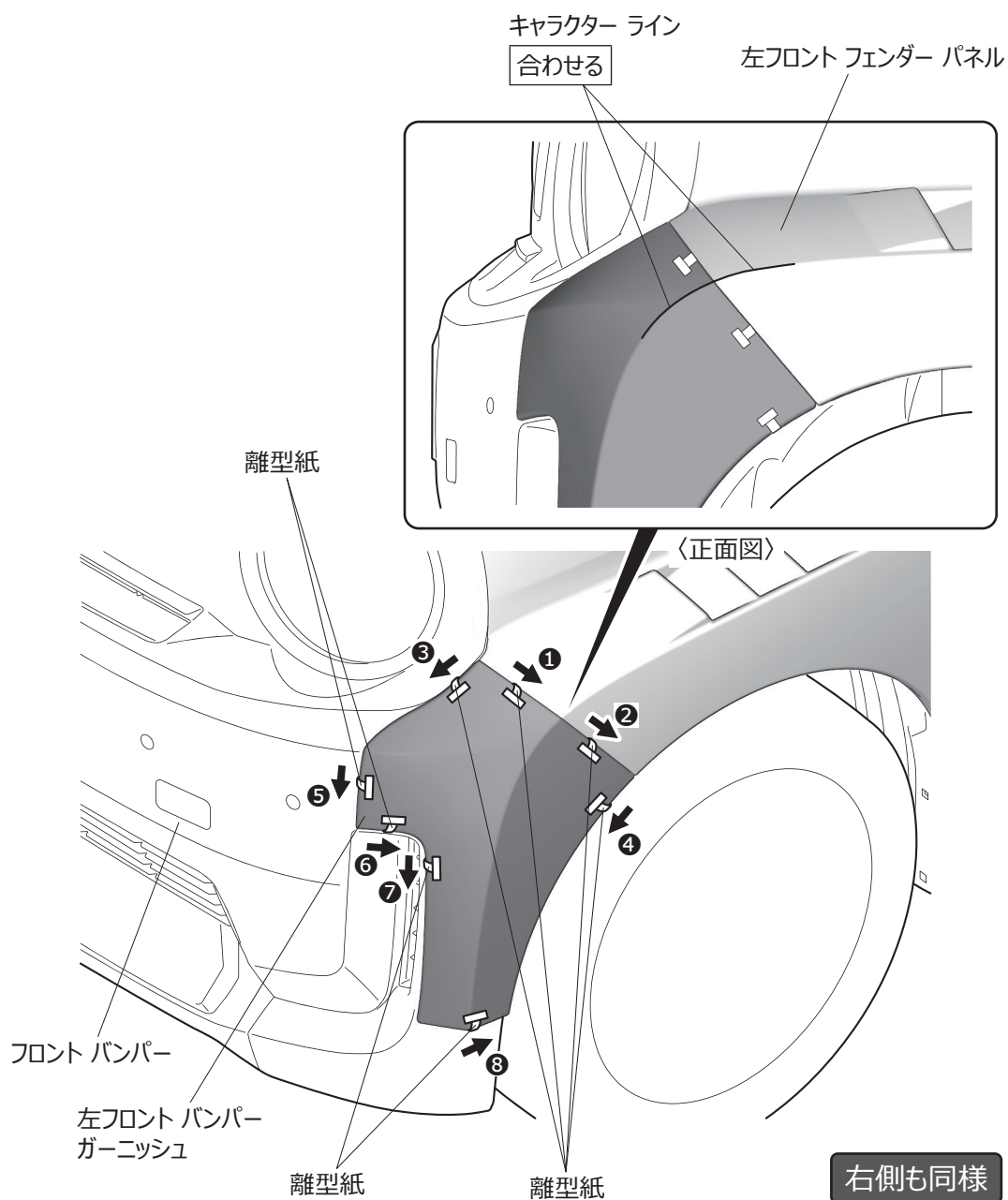
### 41. フロントバンパー、リッドベース、左ヘッドライト、右ヘッドライトを復元する。(サービスマニュアル参照)

42. 左フロントバンパー ガーニッシュの取り付け位置を確認する。

43. 左フロントバンパー ガーニッシュをフロントバンパーに圧着する。

### アドバイス

- 接着力を向上させるため、両面テープ貼り付け時には作業環境温度が20℃以上の状態で行い、温度が低いときには、両面テープまたはボディをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。その際、部分的に温め過ぎると熱変形する可能性があるため注意すること。
- 図に示す方向および順番で離型紙を剥がし、圧着すること。
- ガーニッシュの浮きや剥がれの原因となるため、両面テープの圧着作業は十分に行うこと。



#### 44. 以下の内容を確認する。

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ・ 無限サイド ガーニッシュ非装着車 | 手順45へ |
| ・ 無限サイド ガーニッシュ装着車  | 手順46へ |

#### 45. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを復元する。(サービス マニュアル参照)

手順49へ

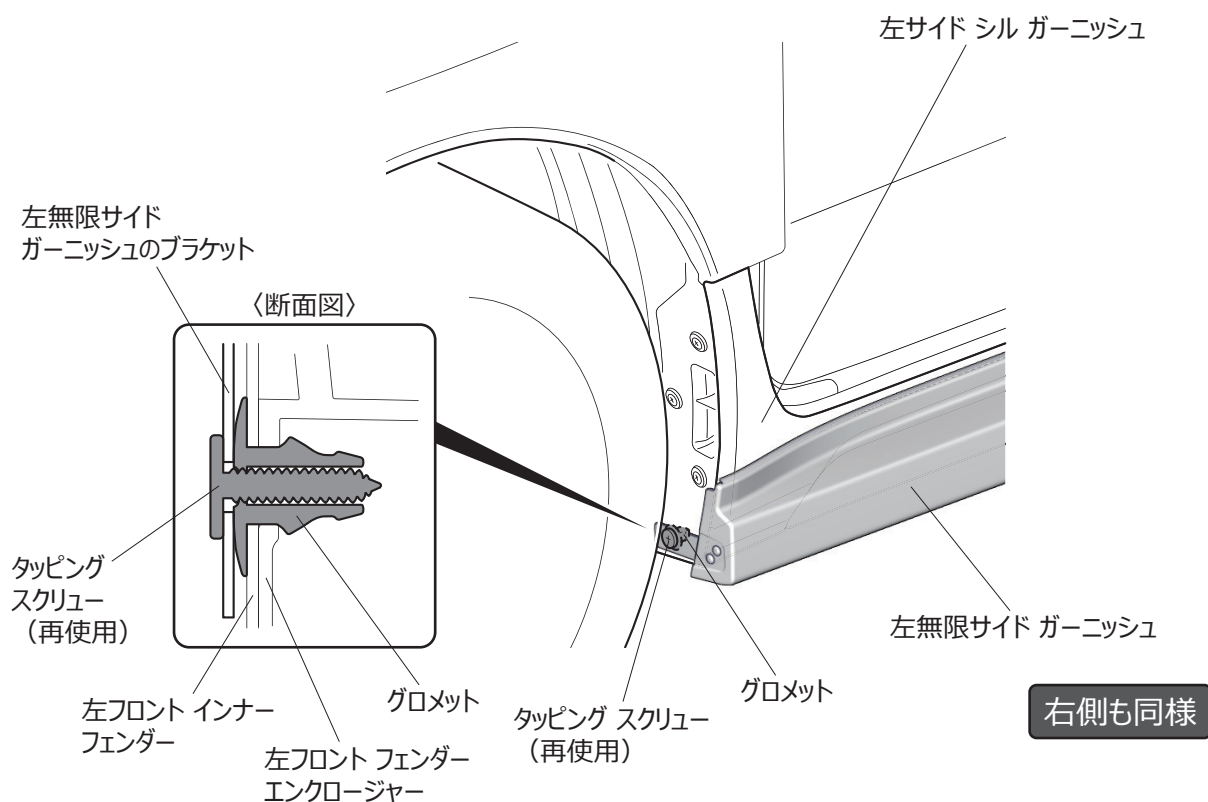
#### 46. 左サイド シル ガーニッシュと右サイド シル ガーニッシュを復元する。(サービス マニュアル参照)

### アドバイス

- ・ サイド シル ガーニッシュの取り付け方が異なるため、手順47と48を参照すること。(異なる部分のみ記載)

#### 47. グロメットを車両に取り付ける。

#### 48. 左無限サイド ガーニッシュを固定する。



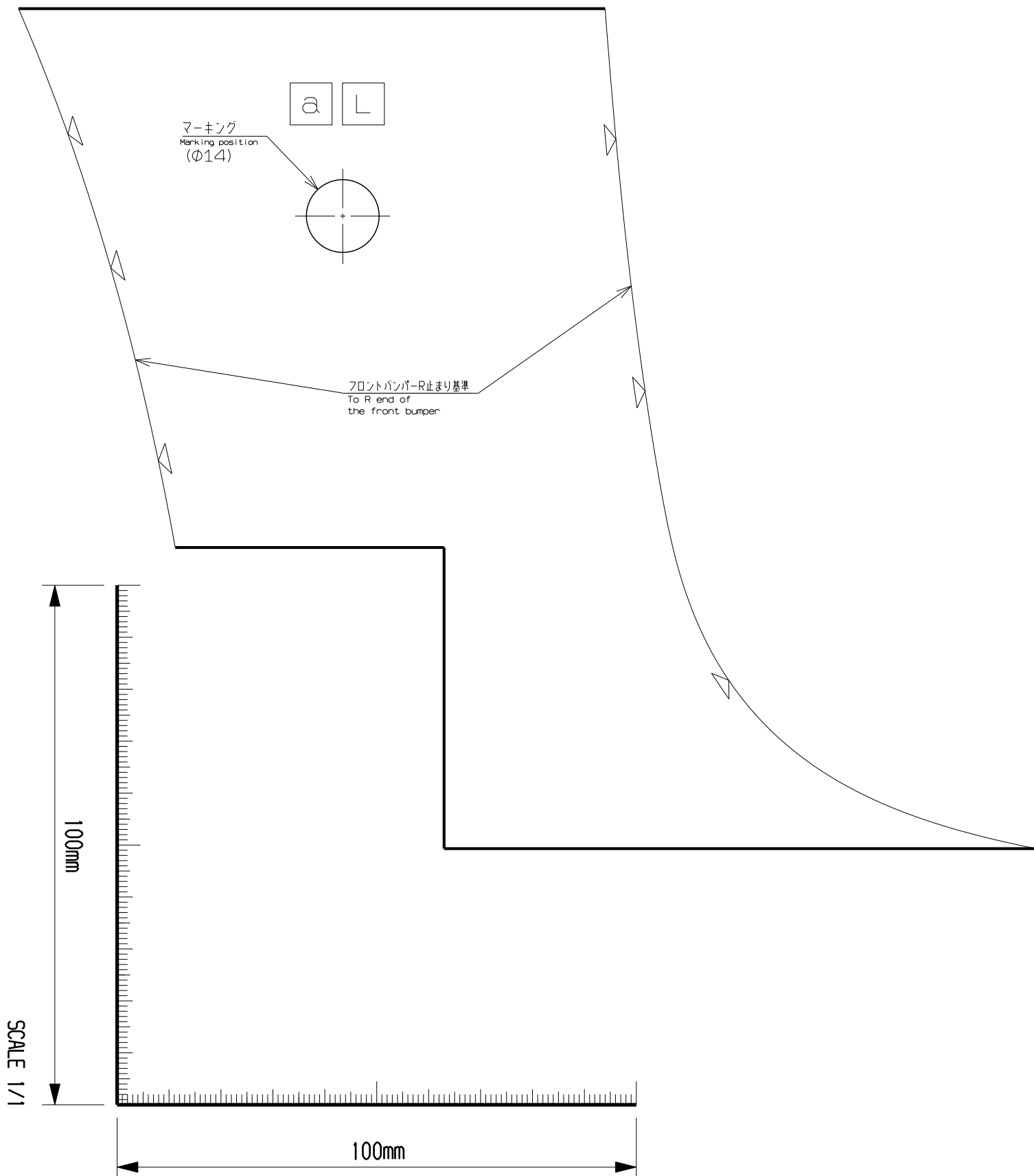
#### 49. 取り付け状態に不良がないことを確認する。

#### 50. 車両をリフト ダウンまたはジャッキ ダウンする。

#### 51. バッテリーのマイナス端子を接続する。(サービス マニュアル参照)

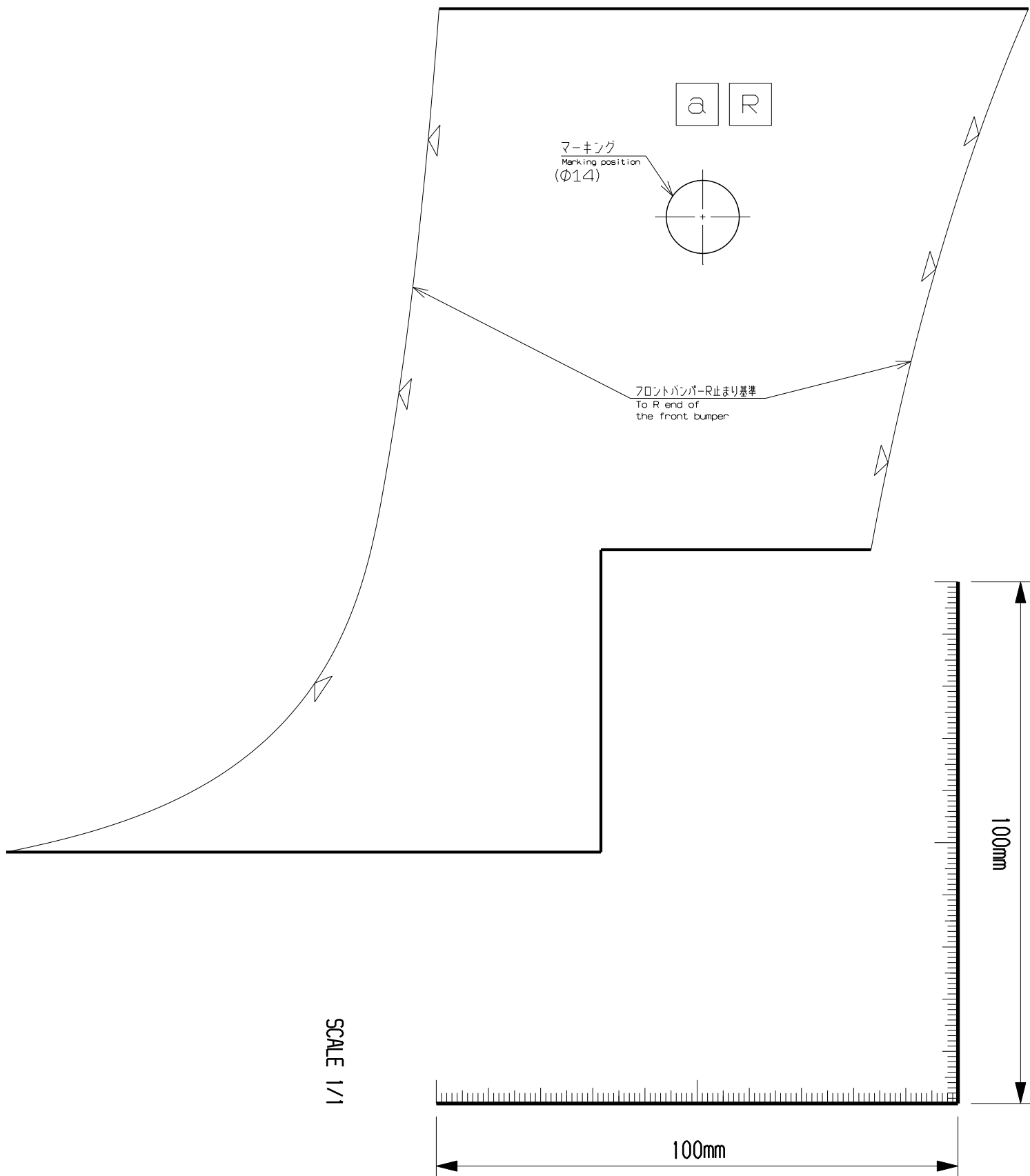
① フロントオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙  
Front Over Fender template sheet  
(60200-XPC -K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



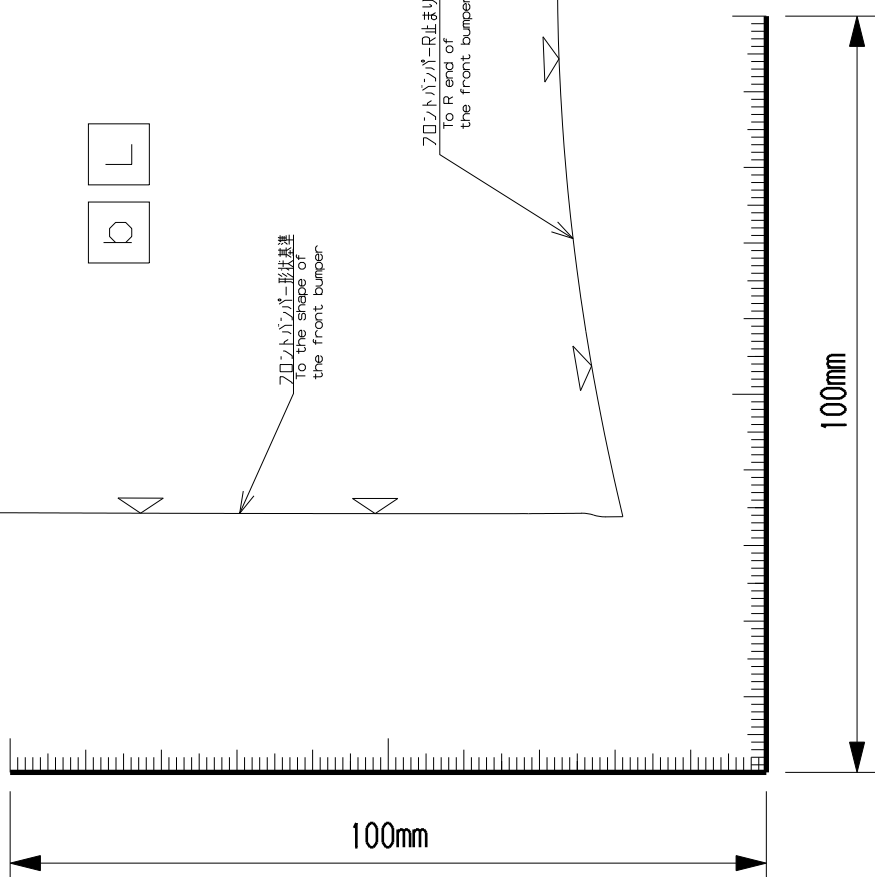
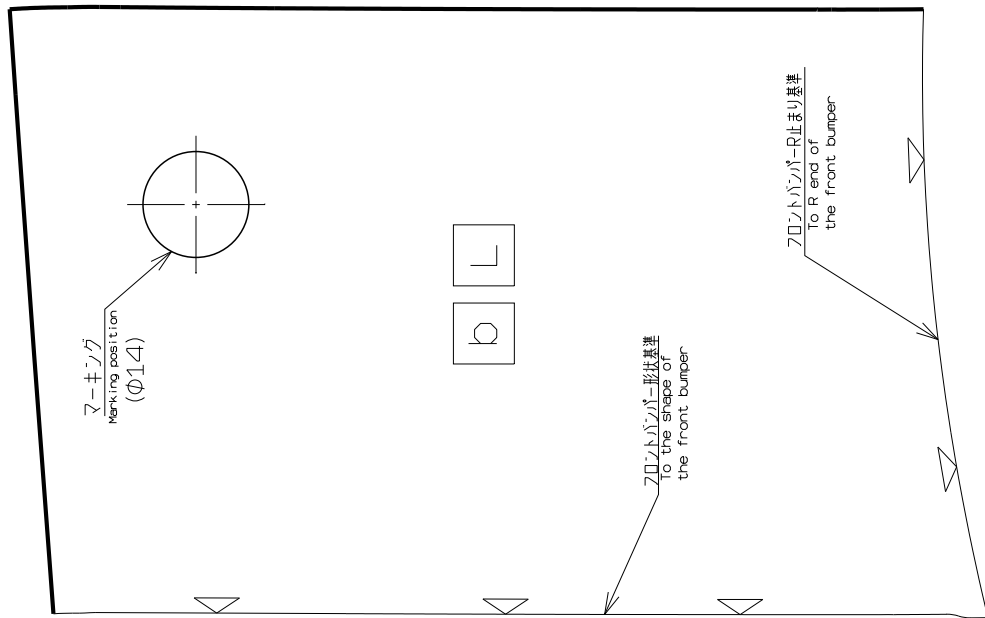
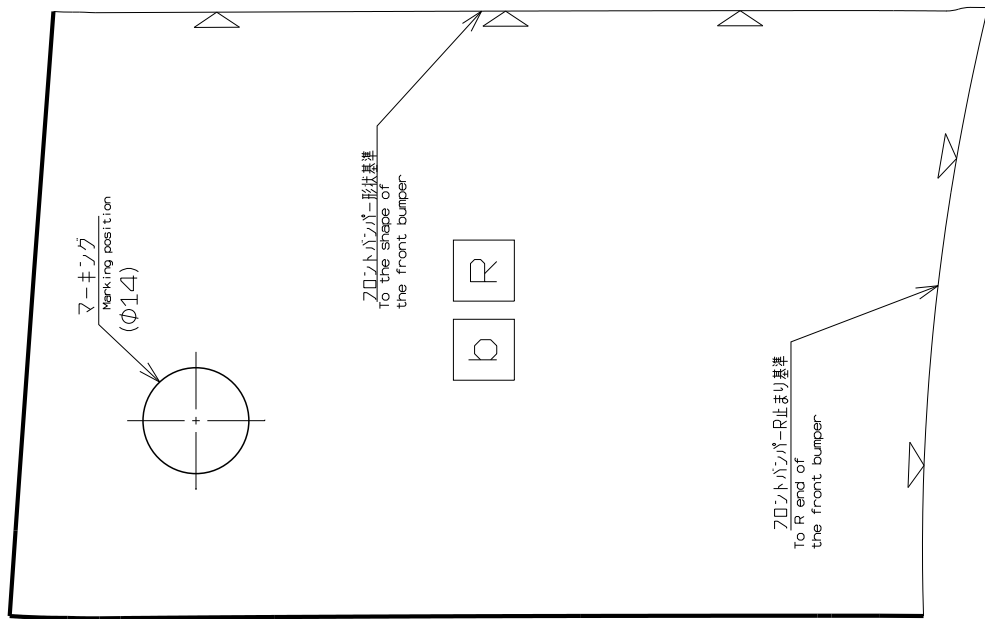
② フロントオーバーフェンダー 穴あけ、バンパーカット用型紙  
Front Over Fender template sheet  
(60200-XPC -K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



③ フロントオーバーフェンダー 穴あけ、パンパーカット用型紙  
 Front Over Fender template sheet  
 (60200-XPC-K0S0)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。  
 <NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



SCALE 1/1